

組み合わせ自由の各種奨学金・教育ローンも多数ご用意しています！

奨学金制度

(2017年12月現在)

種類	日本学生支援機構 第一種奨学金	日本学生支援機構 第二種奨学金	東京都育英資金
貸与月額	下記の金額の中から選択できます 自宅:2万円・3万円・4万円・5万円・6万円 自宅外:2万円・3万円・4万円・5万円・6万円	下記の金額の中から選択できます 3万円・5万円・8万円・10万円・12万円	5万3千円 ※本人及び保護者が都内に 居住を有する方が対象
利息	無	有(上限3% 固定0.23%)	無
返済方法	貸与終了6ヶ月後より 月賦もしくは月賦・半月賦併用	貸与終了6ヶ月後より 月賦もしくは月賦・半月賦併用	貸与終了6ヶ月後より 年1回払いまたは年2回払い
返済期間	10年程度 ※貸与金額により異なります	15年程度 ※貸与金額により異なります	10~14年程度 ※貸与金額により異なります
申込方法	入学後、校内説明会を実施して申込書を配布します		

● 予約採用者学費分納制度

高校生又は高校卒業後
2年以内で進学経験のない方必見!!

この制度は『日本学生支援機構の奨学金』を利用し、奨学金の貸与月額で授業料の分納ができる制度です。制度を利用される方は、入学願書にチェックを入れてください。合格発表後、指定の期日までに入学金10万円の納入と学費分納申請書の提出が必要となります。本校にて、お支払いのプランのご案内もできます。

利用条件: 高校在学中に『日本学生支援機構』の予約採用に決定もしくは申請をしていること。

各種教育ローン

国または各金融機関が融資するローンです。滋慶学園グループと提携している教育ローンでは金利手続きの面で一般の教育ローンの利用より優遇される場合があります。

■ 日本政策金融公庫

(2018年1月現在)

対象	入学される方の保護者、前年度の年収が子供の人数に応じた金額 1人790万円、2人890万円、3人990万円以内の方		
融資額	学生1人につき350万円以内	返還方法	元利均等返済(毎月またはボーナス併用)
利率(固定性)	年1.76%	保証	(財)教育資金融資保証基金または保証人(1名以上)
融資期間	15年以内(据置期間含む)	お問い合わせ	教育ローンコールセンター 0570-008656

■ 提携教育ローン

金融機関名	融資金額	金利※	融資期間	返却据置期間	取扱店	お問い合わせ
三井住友銀行	10万以上 300万円以下	変動(提携) 3.975%	6ヶ月以上9年以内 (据置期間含む)	在学期間以内で 6ヶ月以上48ヶ月以内 (途中退学時は一括繰上返済)	三井住友銀行 の本支店	06-6315-1122 (梅田支店)
三菱東京UFJ銀行	10万以上 500万円以下	変動(提携) 3.775%	1年以上10年以内 (1ヶ月刻み・据置期間含まず)	在学予定期間内 1ヶ月以上4年以内 (1ヶ月刻み)	三菱東京UFJ銀行 の本支店	06-6261-1032 (船場支店)
みずほ銀行	10万以上 300万円以下	変動(提携) 3.375% 固定(提携) 4.15%	6ヶ月以上10年以内 (1ヶ月刻み・据置期間含む)	最長5年 (在学期間+1年間)	みずほ銀行 の本支店	06-6341-0371 (堂島支店)
(株)オリエン コーポレーション	10万以上 500万円以下	固定(提携) 3.0%	最長10年以内 (金額により異なる。 据置期間は別途)	申込日の翌月から 卒業予定月まで	(株)オリエン コーポレーション	フリーダイヤル 0120-517-325 (学校HPから申込み可能)

※2018年1月現在のものになります。変更される場合がありますので、必ず各金融機関で確認してください。

奨学金と教育ローンの違い

申し込み手続きの複雑さから考えると、教育ローンのほうが手軽かもしれませんが、金利や、返済方法においては、奨学金のほうが負担は少ないといえます。その他、保護者の勤務先の福利厚生や、お住まいの地方自治体の奨学金を利用された方が金利が低い場合もあります。

	奨学金	教育ローン
申込者	学生本人	原則保護者
申込時間	基本的に春時期 (入学後4月) 高校在学中または、高校卒業後 2年以内の方は高校を通して、 入学前に申し込みができる 予約採用制度があります。	入学前 合格前から仮申請が可能 (申込時もしくは、契約時に 合格通知書が必要)
貸与方法	月ごとの貸与	一括貸与
どんな利用方法が良い?	入学後に貸与が開始と なるため、月々の生活費や 翌年の学費貯蓄に有効	入学前に一括貸与となるため、 入学時(初年度学費) などに有効
メリット	●借り手は、学生本人 ●返済は卒業後(仕事に就いてから) ●学費以外にも学生生活に利用できる	●手続きが奨学金に比べて簡略的 ●本人を介さずに借りることができる ●必要な金額を一括で借りられる
デメリット	●第一種は審査が厳しい ●貸与を受けられるのは「卒業までの 最短修業年限」	●奨学金に比べて金利が高い ●安定した収入がないと借りられない